

## I. 演題について

### ①高校生に限定？

算数と数学の違い

### ②過去の論点のずれ！

「数学は役に立つから」は「私に無関係！」

「数学は面白い」は「私は面白くない！」

### ③「しなければならない」?!?

奇妙な言い方

## II. 思考という自由からの逃走

考え、判断し、自ら考えを進めていくことが苦痛そのものとなってしまったとき、  
楽しいこと、学び自らを高めることから、逃げ出そうとする。

人間のもつ最も大きな自由の一つ自らを高めること、その自由から逃避しようとする！  
そして「どうして学ばなければならないの」という悲鳴を発する

## III. 受験勉強は害なのか.

もしそうなら、大学がなぜ入試を課すの？

3つの迷信

- (1) 疑問点はすぐに質問してその日のうちに解決する
- (2) 考え方を理解すると学力がつく
- (3) 模試は合格可能性の判定のためにある

## IV. 若者の未来は限りなく大きい

若者——「脆弱（ぜいじゃく）さ」と「可能性」

未来という言葉も同じように脆弱さと可能性を感じさせます。そのオーラのまっただ中にいる若者自身は、その脆弱さと可能性を気づかずにいることも少なくありません。多くの、かつて「若者」だった社会人は、それをよく知っているのですが。

[IV] 数学は人類の文化である。

- (1) 勉強するということ
- (2) 数学という文化に接するということ
- (3) 『どうして高校生が数学を勉強しなければならないの？』